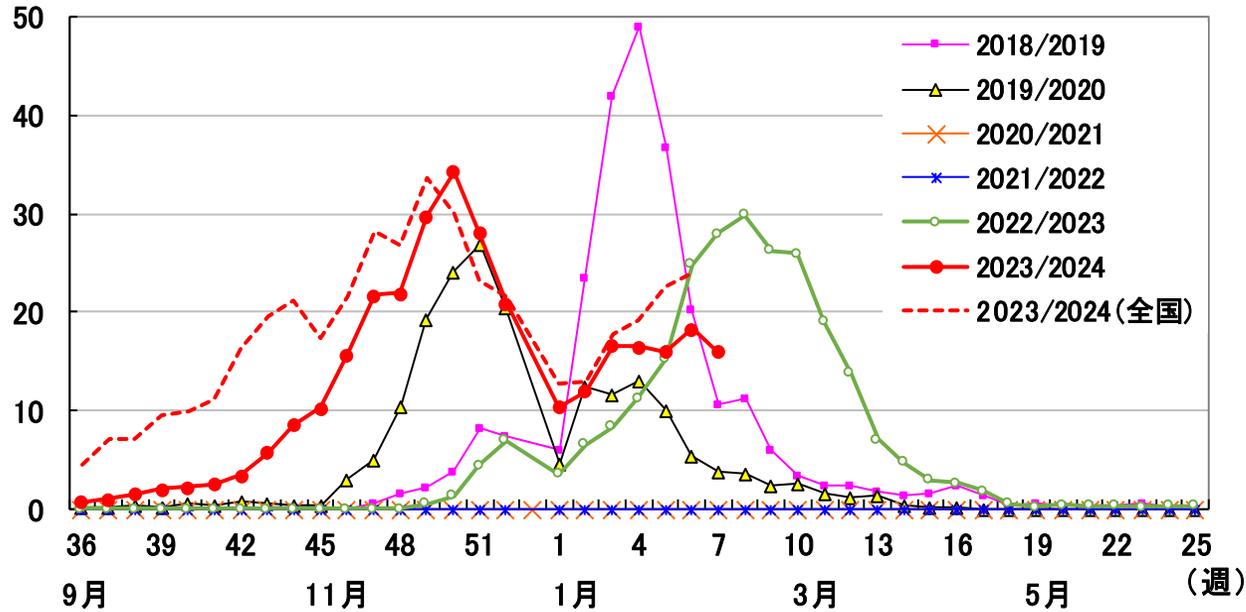


インフルエンザの発生状況(富山県)

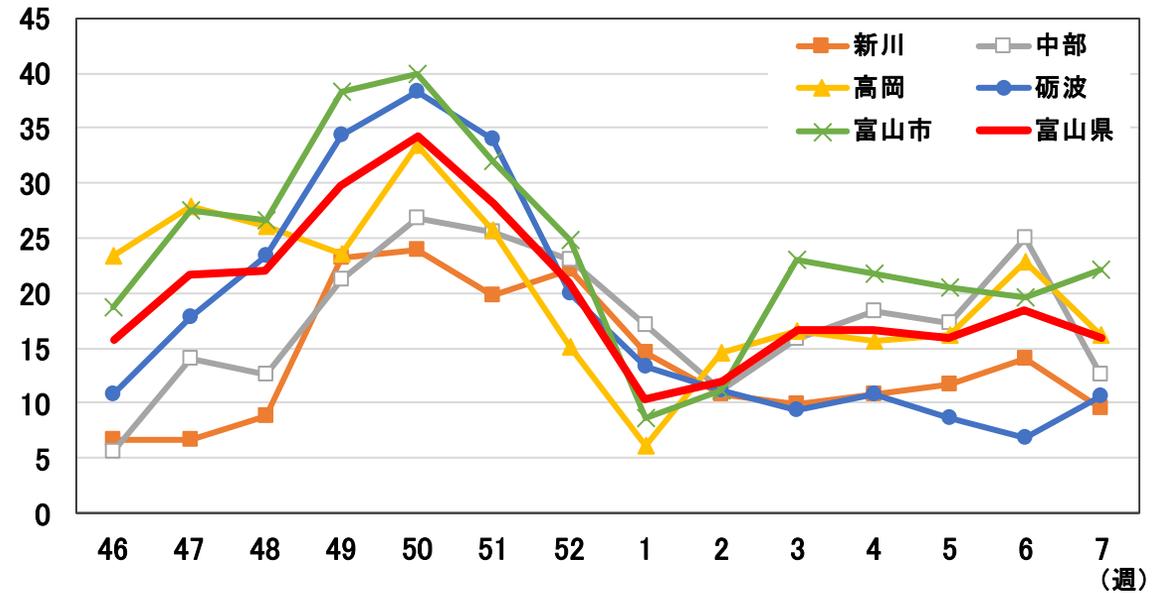
【第7週(2024/2/12~2/18) 感染症発生動向調査速報値 (2024/2/21時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第7週) **16.00**人/定点となり、先週(18.35人/定点)からやや減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、新川、中部、高岡管内で先週から減少した一方、砺波、富山市管内では先週からやや増加した。

図3. 年代別割合(富山県、第7週)

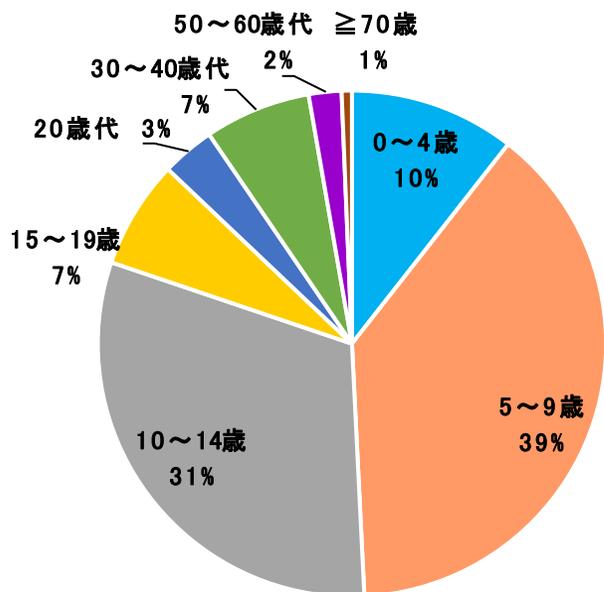
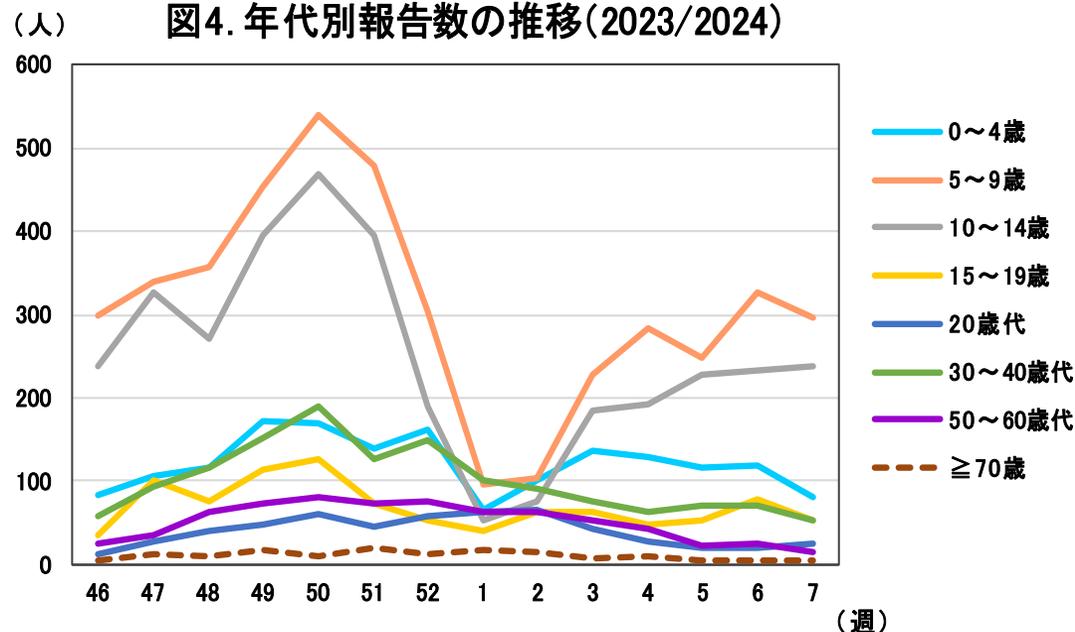


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第7週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が80%を占め、先週（77%）と同等であった。
- 年代別報告数の推移（図4）では、10歳未満の年代が先週からやや減少した。その他の年代では概ね横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第7週に24件（小学校14件、中学校5件、高等学校5件）の報告があった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第6週)

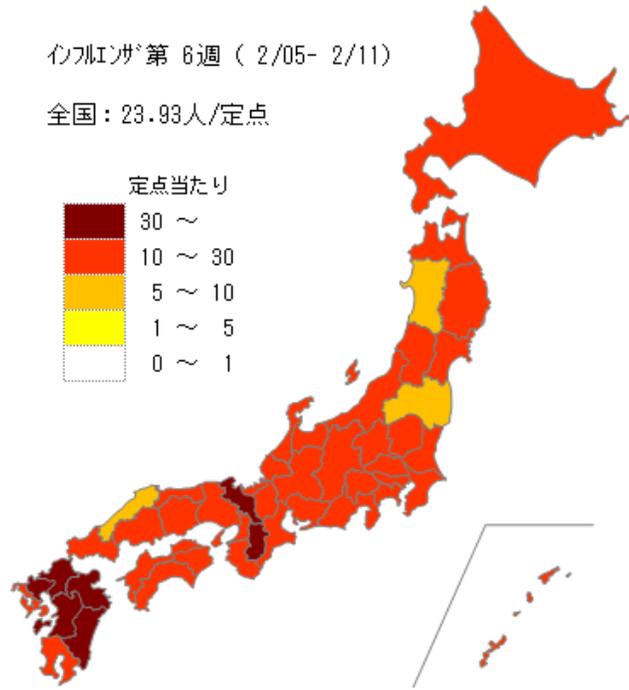
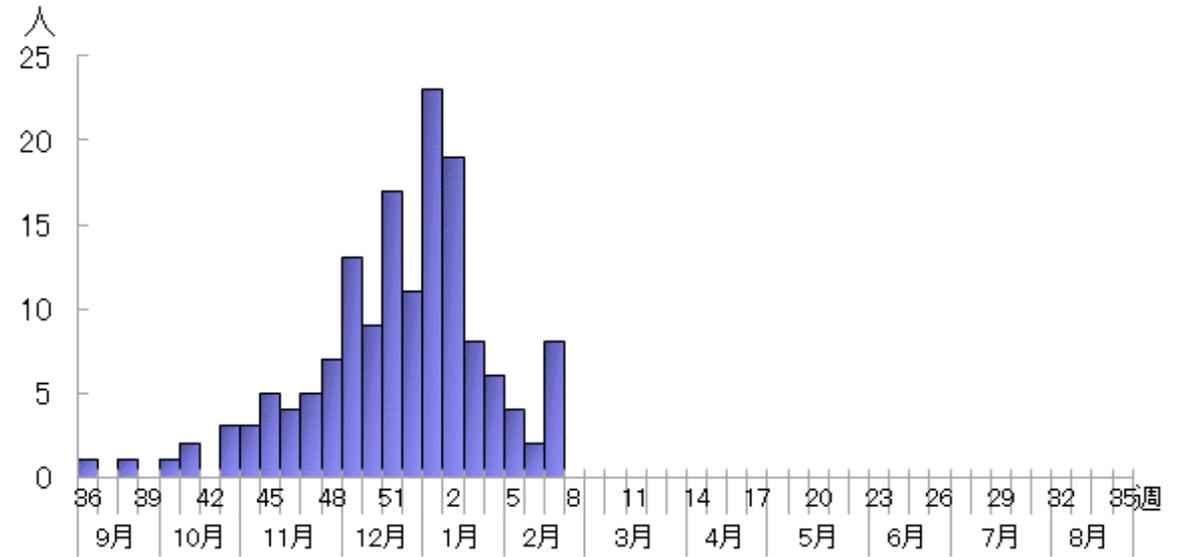


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第7週)



- 全国では第6週に23.93人/定点となり、第5週（22.62）からやや増加した。都道府県別（図5）では、44都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超え、その内7府県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第7週に8例の報告（10歳未満：4例、10歳代：2例、30歳代：1例、80歳以上：1例）があった。
- インフルエンザ定点の患者報告数は先週からやや減少した。また、B型の検出割合が今週58.1%となり、A型より優勢となった（先週40.4%、[富山県感染症発生動向速報2024年第7週](#)）。全国の報告数は増加が継続しており、引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。